

みやけの風

第 191 号

平成16年(2004年)9月25日(土)発行
 発行：三宅島災害・東京ボランティア支援センター
 発行責任者：上原 泰男
 東京都新宿区神楽河岸1-1 セントラルプラザ 10階
 東京ボランティア・市民活動センター 気付
 TEL：03-3260-7573 FAX：03-5229-1646
 E-mail：tokyocenter@cmpo.org

住民説明会には799名の参加があったそうです。説明会では、避難指示解除後の都営住宅についてや住宅再建支援、引越し支援の話もありました。帰るも残るも様々な家族の事情が住民にはあるはず。いろいろなことを自分一人で考え込んでしまったり、あきらめたりする前に、村の相談窓口に行ってみるのだと思います。道が開けるかもしれません。住宅相談窓口が開設されたら私も行って、率直に家族の事情を話すつもりです。

みんなの声 嬉しい事が二つ

「ヘリに乗る日はいつだっけ」この繰り返しがずっと続いて、妻にも呆れられていた。やっとヘリに乗る当日、朝早くミニキャブのボランティアの方が迎えに来てくれた。残念ながら雨がポツリ、ポツリ落ちてきた。ヘリポートへ着いた時は雨も強くて心配になった。いよいよヘリに乗り込んだ。みんな4年ぶりの故郷三宅島に興奮気味。車椅子もヘリに積み込んで、準備OK。島がどんなになっているのか実際に自分で見られる楽しみと不安を抱えて、心も身体も空へと舞い上がった。

だんだん島へ着く頃は天気もすっかり晴れ上がって、三宅島が見えだした。雄山がのこぎりみたいにギザギザになって目の前に見えてきた。妻は涙を拭いていた。後で分かったのだけれど「やっと俺に三宅を見せる事が出来た」と感激したとの事だった。

4年ぶりの島は「へえー、こうなってんだ」「わー、すごいや」枯れた木、あっちこっちに出来ているダムに驚き、我が家もほんの瞬間だけれど、妻の指さす方向に、無事なのをこの目で見れた。「あっ家だ」と思って、嬉しかった。「やっと島に来たぞー、俺も来れた！」と大きい声を出したかった。

帰りはそんな島の光景とは違って本当に隙間のない程立ち並ぶビルに埋め尽くされた大都会を上空から見物できた。

今まで、島へ立ち入る事が出来なかった自分が、上空からだけでも、こうして見る事が出来た。何となく取り残された様な気分だったけども、今回のエクセル航空の方々のご配慮によって良い思いをさせてもらいました。心から

お礼を言いたいと思います。

三宅社協の寺本会長、桑村さん、休みにもかかわらず朝早くから出て、皆のお世話をしてくれました。そんな皆さんと一緒に働く息子の姿も初めて見ました。子供の成長した姿も本当に嬉しかった。今日は二つの喜びを味わった最高の日でした。大勢の方々に手を貸してもらって4年ぶりの夢が叶いました。(港区 早川道教(妻聞き取り))

～住民説明会に行ってきました～

18日(土)、都庁にはたくさんの島の皆さんが来られていて、懐かしい顔にたくさん会うことが出来ました。19日(日)の八王子でも同様にたくさんの島の人に会うことが出来ました。

冒頭村長から挨拶があり三宅島の復興は並大抵の道のりではないが、役場の皆さんと共に引続き最大限の努力をしていくのでどうか皆さんも力を貸して下さいという復興に向けた力強い言葉がありました。

その後役場からは、世帯詳細調査の報告や帰島計画、高濃度地区等の規制区域の設定、被災者生活再建支援制度の説明や避難指示解除後の都営住宅の取扱いについての説明等がなされました。あわせて帰島計画や帰島・生活再開の手引き等の資料も配られ帰島までの流れや帰島に向けた準備等が話されました。

質疑も活発に行われ、帰島後の安全対策についての質問が出され、役場からは火山ガスに対する適切な情報伝達等を行うとして、住民も適切な行動をとることが必要とされると話されました。また高濃度地区にお住まいの方からは帰島後の住居や農地についての質問が出されました。その他質問

内容は多岐に渡り、避難指示解除に向けた島の皆さんが抱える課題の大きさと多さを改めて実感しました。

各会場とも終了後に幾人かの人と立ち話をしました。そこで感じたことは、帰りたい気持はみんな一緒だけどそれぞれ本当に様々な事情があるんだということです。

課題は個別になっていて抱える問題も個別で大きく違っていると感じました。それに対して役場では総合相談窓口を設けて、相談を受付けるようになりました。

大きな判断を迫られる時期が遠くない所にまでやってきた今、住民同士また、住民と役場が意見を交換するなかでこれからの時間も、避難指示解除に向けた取組みも共有しながら歩いて行かなければいけないなあと感じました。

帰宅後、配られた資料を何度も読み返し、避難指示解除に向けた意識を、改めて持つことが出来ました。

(府中市 伊ヶ谷 坂上幸一郎)

三宅村役場より

三宅村では帰島に関する相談を受け付けるため、総合相談窓口を9月21日より都庁29階にて設置しています。電話での相談も受け付けておりますので、お気軽にご相談ください。

なお、生活の悩みや福祉の手続きなど、生活に関する相談につきましては、生活相談窓口を引き続きご利用ください。

きとうたいさくほんぶ
帰島対策本部

そうごうそうだんまどぐち

総合相談窓口

専用電話 03 - 5320 - 7784 (9月21日～)
場 所 東京都庁第1本庁舎29階

せいかつそうだんまどぐち
三宅村と三宅支庁の 生活相談窓口

専用電話 03 - 5320 - 7858
03 - 5320 - 7873
場 所 東京都庁第1本庁舎41階南

三宅島災害・東京ボランティア支援センターより

第9回三宅島島民ふれあい集会 島民実行委員会へのお誘い

先日来、『みやけの風』でもお知らせしているとおり、『第9回三宅島島民ふれあい集会』の『第1回島民実行委員会』を開催いたします。

「ふれあい集会に対して望むこと」など率直に語っていただき、三宅島島民として、どんな集会にしたいのか？参加される全ての皆さんにとって気持ちの良い集会にするにはどうしたらよいのか？など知恵を出し合える場にしたいと思います。

いろいろな心配事や帰島前健康診断などお忙しい時期とは存じますが、お誘いあわせの上、奮ってご参加くださいますよう、ご案内もうしあげます。

(三宅島災害・東京ボランティア支援センター事務局)

内 容：第9回三宅島島民ふれあい集会島民実行委員会

日 時：10月3日(日) 13:30～

会 場：飯田橋セントラルプラザ12F C会議室